

英米文化学会会報

第 71 号

平成 19 年 5 月 15 日



アメリカ南部の温暖湿潤な気候は、独特の風景を作り上げる。これも南部の文化を育んだ要素のひとつ。フロリダ州の州都タラハシーにある歴史・自然博物館の園内に生い茂る木々は、水中に根を下ろしていた。近くのレストハウスからは、南部生まれのジャズの調べが風に乗って聞こえた。(撮影：佐野、2006年冬)

目次

- ◆ 例会担当より 英米文化学会 第 123 回例会のお知らせ
- ◆ 大会担当より 英米文化学会 第 25 回大会会場と研究発表
- ◆ 例会担当より 英米文化学会 第 124 回例会発表者募集
- ◆ 分科会より 「認知言語学によるテキスト研究分科会」活動報告
- ◆ 財務より 会費納入のお願い
- ◆ 事務局より 学会人事・会員消息

◆英米文化学会 第 123 回例会のお知らせ (担当: 小林弘理事)

標記の会を下記の要領で開催します。万障お繰り合わせの上ぜひご出席下さい。

日時：平成 19 年 6 月 9 日(土)午後 3 時 00 分～5 時 30 分

午後 2 時 30 分受付開始

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス<富士見校舎> 55 年館 531 教室

<正門入って正面の建物です。交通図・構内図は 3 ページにあります>

(JR 総武線および地下鉄有楽町線・東西線・南北線・新宿線・大江戸線の飯田橋駅・市ヶ谷駅徒歩 5 分)

当日会費：100 円

臨時総会：午後 5 時 30 分～6 時 (例会に引き続いて臨時総会を開きます)

懇親会：教職員食堂 (55 年館 2 階) 会費：2,000 円 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

研究発表

1. 「気がつく」ことによって起こる罪の連鎖 —『大理石の牧神』をめぐって—

(15:10—15:50)

発表 笠原慎一郎 (昭和女子大学院)

司会 君塚淳一 (茨城大学)

2. 『ガリヴァー旅行記』を対比的構造から読む —ユートピアの視点から—

(15:50—16:30)

発表 加藤千博 (横浜市立大学)

司会 堅谷宏一 (拓殖大学)

————— 小休止(16:30—16:40) —————

3. 英語空間詞の理解を補助するイメージスキーマについて

(16:40—17:20)

発表 佐藤 健 (静岡大学)

鈴木明夫 (城西大学)

司会 平川敦子 (城西大学)

研究発表抄録

1. 「気がつく」ことによって起こる罪の連鎖 —『大理石の牧神』をめぐって—

笠原慎一郎 (昭和女子大学院)

ナサニエル・ホーソーン (Nathaniel Hawthorne) の『大理石の牧神』(*The Marble Faun*, 1860)において、登場人物たちがミリアムの罪 (sin) に「気がつく」ことによって、あるいは彼女の罪が間接的に影響することによって、新たな罪 (sin) を犯してしまうという罪の連鎖の問題を論じる。ここで述べている罪とはホーソーンが考えていたのではないと思われる心理的 (mental) で道徳的 (moral) な罪を指す。物語が始まる前にミリアムが犯していた罪を主軸として、ドナテロやヒルダが罪を犯してしまうことや、ケニヨンも罪を犯してしまうのではないかという可能性について論じる。ミリアムの罪から端を発して他の登場人物が罪を犯していくということを検討し、一つの罪が罪を呼ぶというホーソーン的主張に検討を加える。

2. 『ガリヴァー旅行記』を対比的構造から読む —ユートピアの視点から—

加藤千博 (横浜市立大学)

『ガリヴァー旅行記』は諷刺文学に属し、アンチ・ユートピアの作品として称されることが多く、娯楽作品という以上に多大に政治的、思想的な要素が含まれている。ところが中野好夫が「小人国・大人国」を前編として切り離し小学生用に翻訳し、宮崎駿が第三篇を抽出し『天空の城ラピュタ』を製作したように、この作品を四つの部分に分けて解釈することにより、娯楽的な要素が強調され、本来の諷刺的、ユートピア的要素が見えにくくなってしまっていることが多い。それはユートピア作品というものが性格上対比構造の上に成り立つ傾向があるからと言える。その手法はトマス・モアが現実を諷刺する第一巻と理想国家を描いた第二巻を対比的に表した『ユートピア』以来の伝統とも言える。『ガリヴァー旅行記』四篇をそれぞれ対比的に読むことによりユートピア的な要素が一層鮮明になり、現代の我々に対しても訴えかけてくるものが強くなっていくことを示していく。

3. 英語空間詞の理解を補助するイメージスキーマについて

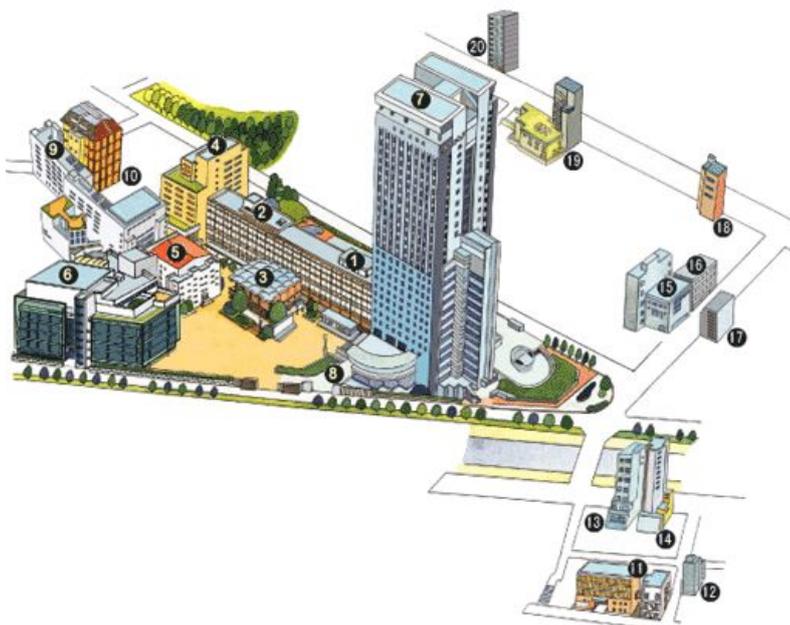
佐藤 健 (静岡大学)

鈴木明夫 (城西大学)

多義的な空間詞 (例えば on や over) を含む英文について日本人英語学習者が構築する理解表象を、van Dijk & Kintsch らが主張する「命題的テキストベース」の段階から「状況モデル」の段階における理解表象に深化させる補助としてのイメージ・スキーマの効果を検討した。いくつかの多義的な空間詞について、イメージ・スキーマの補助を与える群と字義的な解説を補助として与える群に、48名の大学生をランダムに割り当て、状況モデルの段階における前置詞の理解度を測る課題を行った。状況モデルの段階における両群の前置詞の理解度について統計的な検定を行ったところ、イメージ・スキーマを補助として与えた群は、字義的な説明を補助として与えた群よりも、前置詞の理解度が有意に優れていることが判明した。多義的な前置詞を含む英文に対する、状況モデルにおける理解表象構築を補助するイメージ・スキーマの効果について論じる。

* 第123回例会会場 (法政大学市ヶ谷キャンパス<富士見校舎> 55年館)

JR・地下鉄：JR 総武線および地下鉄有楽町線・東西線・南北線・新宿線・大江戸線の飯田橋駅・市ヶ谷駅利用



①の建物が 55 年館。正門から入ると、最も高い建物⑦ (ボアソナード・タワー) の左側

◆英米文化学会第25回大会会場と研究発表のお知らせ（担当：曾村充利理事）

第25回大会は以下の要領で開催されます。

日時：平成19年9月8日（土）

場所：日本大学歯学部3号館

懇親会場：地下1階ラウンジ「いこい」（会費：3,000円）

（JR中央線・総武線 御茶ノ水駅、地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅・新宿線 小川町駅他）

発表者（予定）

1. 「ハンサムな水兵『ビリー・バッド』における男性美の理想と世紀末の身体文化」
岡田 桂（関東学院大学）
2. 「父親不在の意味—『歓楽の家』論考」
西垣有夏（京都学園大学）
3. 「アトウッドの初期作品における構図の変化」
塚田英博（城西大学）
4. 「トウェインと徳富蘆花 — ふたつの聖地巡礼記」
佐野潤一郎（創価大学）
5. 「キャリバンのおいしい食べ方」
越智敏之（千葉工業大学）
6. 「英作文のフィードバックの効果に関する事例研究：英語習熟度の低い学習者」
上田 藍（清泉女子大学）
7. 「『日の名残り』—アイロニカルなイングリッシュネス礼賛」 曾村充利（法政大学）

問い合わせ先：大会担当 曾村充利理事 MitsutoshiSomura(at)SES-online.jp

詳細は次号でお知らせいたします。

◆英米文化学会第124回例会 発表者募集のお知らせ（担当：小林弘理事）

第124回例会は、平成19年11月10日（土）に開催されます。

その例会の発表者を募集しています。発表時間は30分です。発表希望の先生は、ご氏名、所属、研究発表題名を以下のアドレスにメールでお知らせください。申し込み締め切りは8月31日です。ふるってお申し込みをお願いいたします。

発表申し込み先：例会担当 小林弘理事 HiroshiKobayashi(at)SES-online.jp

◆ 分科会より報告

「認知言語学によるテキスト研究分科会」活動報告

森 千佳子

今年3月に「認知言語学によるテキスト研究」分科会を立ち上げ、4月7日に第一回の会合を持った。メンバーのほとんどが第二言語習得の研究者で、生成文法家やメディア英語研究家、高校教諭などの参加者もあり、多方面から貴重なご指摘を賜り活発な意見交換がなされた。認知言語学の理論をテキストに生かすこと
の有用性については共通理解が得られたが、「どのような」テキストを作成するかについては、まだ議論の余地がある。今後の予定としては、夏休み前に集まり
テキストの具体的な構成を決め、夏期休業中に詳細を検討する。その「テキスト
案」を後期の授業で用いて学生からのフィードバックをまとめ、練り直し作業を
行う。また、本学会で途中経過を報告する予定なので、その際には皆様からの忌
憚無いご意見を賜りたい。

◆財務から会費納入のお願い（担当：山根正弘理事）

年会費は郵便振替でお支払い下さい。受領証は領収証に代わるものです。
必ず保管して下さい。郵便振替用紙が同封されています。ご確認下さい。
すでにお振込の方はご容赦下さい。事務手続上、全員に発送しています。
納入状況は、山根 (MasahiroYamane(at)ses-online.jp) に問い合わせ下さい。

年会費：5,000円

郵便振替番号：00160-7-611777

加入者名：英米文化学会

◆事務局（担当：大東俊一理事）より

3月10日の総会にて、以下の人事が承認されました。

<新組織図>

会長	小野 昌	MasaruOno(at)SES-online.jp
理事長	石川郁二（副会長）	IkujiIshikawa(at)SES-online.jp
常任理事	佐藤治夫（副会長・理事長代行）	HaruoSato(at)SES-online.jp
常任理事	大東俊一（事務局長）	ShunichiDaito(at)SES-online.jp

学術担当理事	上野和子	KazukoUeno(at)SES-online.jp
出版担当理事	君塚淳一	JunichiKimizuka(at)SES-online.jp
分科会担当理事	須田理恵	RieSuda(at)SES-online.jp
大会担当理事	曾村充利	MitsutoshiSomura(at)SES-online.jp
例会担当理事	小林 弘	HiroshiKobayashi(at)SES-online.jp
広報担当理事	佐野潤一郎	JunichiroSano(at)SES-online.jp
財務担当理事	山根正弘	MasahiroYamane(at)SES-online.jp
会計監査	山下信一 河村博旨	
顧問	大島良行 勝浦吉雄 深井宏一 名和雄次郎 高取清	

<各種の問合せ先>

住所変更、事務全般に関するもの・・・事務局長
 会誌『英米文化』への投稿・・・学術担当理事
 学会編集の刊行物・・・出版担当理事
 分科会の設立・運営・・・分科会担当理事
 大会の発表申込み・運営・・・大会担当理事
 例会の発表申込み・運営・・・例会担当理事
 会報への投稿・・・広報担当理事
 年会費・・・財務担当理事

〔おことわり〕

メールアドレスの表記については、@入りのメールアドレスを検索・流用して迷惑メールを送りつける悪質な業者が、昨今、多いようですので、「@」を「(at)」に置き換えて表記させていただいております。メール作成のときには、お手数とは存じますが、@に置き換えてご送信いただきたくお願いいたします。

<会員消息>

新入会員

鈴木留美子、金子智香、上田藍

退会

志村哲、一瀬その子、James Godley、増澤史子、北村桂子、江中八郎、古澤寛行

英米文化学会会報 第71号 編集/発行：英米文化学会 編集責任者：佐野潤一郎
 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 5-27-23

英米文化学会事務局 〒339-8539 さいたま市岩槻区馬込 1288 人間総合科学大学人間科学部 大東俊一研究室内
 Tel:048-749-6111(office), 03-5399-3395(home) E-mail:ShunichiDaito(at)SES-online.jp

年会費等振込先：郵便振替 加入者名 英米文化学会 口座番号 00160-7-611777

学会ホームページ <http://www.SES-online.jp/indexj.html>